K1

エコアクション２１

２　０　２　２　年度

環 境 活 動 レ ポ ー ト

（２０２２年　６月　１日　～　２０２３年　５月３１日）

発行日：２０２３年１０月１０日

“想いをかたちに時代が求める企業へ”

株式会社　菅原工務所
〒９９８－０８５６　山形県酒田市東栄町１２番４４号
ＴＥＬ：0234-22-5422　ＦＡＸ：0234-23-7034

目　次

表　紙		1
目　次		2
1	環境方針	3
2	組織の概要	4・5
3	認証・登録の対象組織・活動	5
4	環境目標	5～7
5	主な環境活動計画	7・8
6	環境目標の実績	9
7	環境活動計画の取組結果の評価	10
8	環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟等の有無	10
9	代表者による全体評価と見直しの結果	11

１．環境方針

環境理念

当社は、『顧客と社員と地域にとっていい会社であり続ける』を企業理念として本業である建設業を通じて、地球温暖化問題への取組みや地域の環境活動に継続的・自主的・積極的に取組みます。

環境活動方針

（１）環境関連法・規則を遵守します。

（２）二酸化炭素排出量の削減に努力します。

（３）廃棄物の削減及び再生利用に努めます。

（４）排水量（または水使用量）の削減に努力します。

（５）グリーン購入やグリーン調達に努めます。

（６）製品またはサービスの環境配慮に努力します。

（７）地域での環境活動に積極的に参加します。

２０２３年　４月　１日

株式会社　菅原工務所

代表取締役　　菅原　脩太

２．組織の概要

（１）名称及び代表者名

株式会社　菅原工務所
代表取締役　菅原　脩太

（２）所在地

本社：山形県酒田市東栄町１２番４４号
ＴＥＬ：０２３４－２２－５４２２
ＦＡＸ：０２３４－２３－７０３４

工事部事務所：山形県酒田市広野新田字川端割４５－１１
ＴＥＬ：０２３４－４３－１４８８
ＦＡＸ：０２３４－４３－１４８９

（３）環境管理責任者氏名

責任者　執行役員常務　三浦　克彦

（４）事業内容

土木・建築工事（総合建設業）、除雪業務

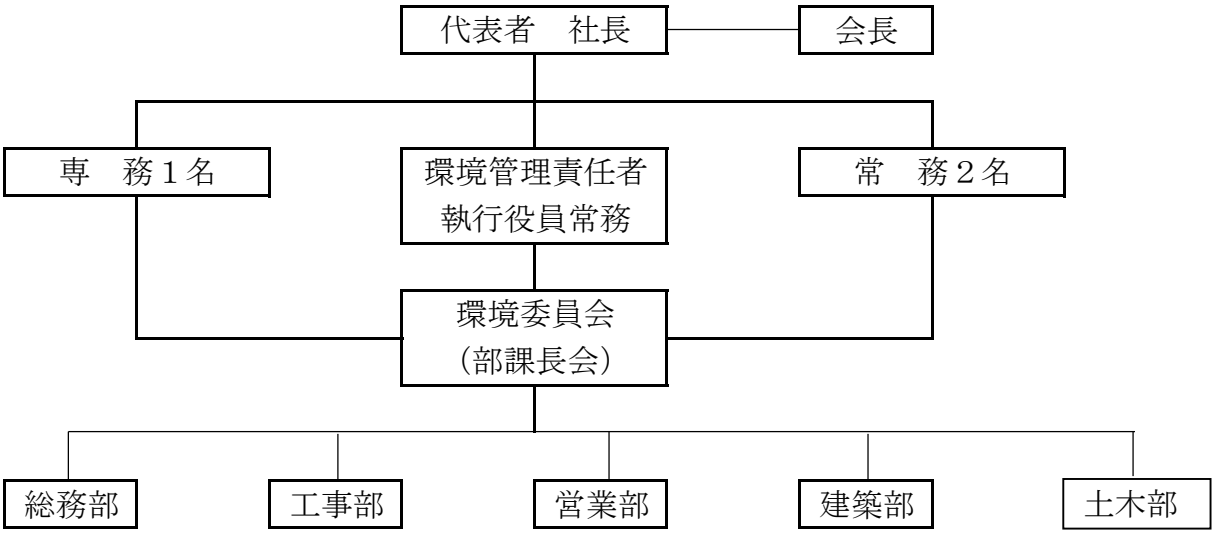
（５）事業の規模

創業：１９３７年（昭和１２年）
設立：１９７６年（昭和５１年）
資本金：５０００万円
売上高：２１億３１４０万円（令和４年度）
従業員：５３人
延床面積：本社事務所　８９１m2
工事部事務所　５３m2　資材倉庫　３３５m2

（６）事業年度

６月　～　翌年５月

（7）組織図



３．認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名：株式会社　菅原工務所

対象事業所：本社事務所・広野工事部事務所・建設現場

活動：土木・建築工事、除雪業務

環境活動レポートの対象取組期間

２０２２年　６月　１日　～　２０２３年　５月３１日
全組織・全活動を対象としています。

４．環境目標

（1）環境目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、および、環境方針との整合性を図り、次の項目について環境目標を設定します。
（化学物質使用量削減については、使用がないので対象外とします。）

1．二酸化炭素排出量
2．廃棄物排出量
3．総排水量
4．グリーン購入の推進
5．建設現場での重機等のアイドリングストップに心がける
6．建設現場では環境に配慮した施工を心がける

（２）主な環境負荷の実績

2022年度（2022年6月～2023年5月）当社における主な環境負荷の実績は下記に示す通りとなっています。

二酸化炭素排出量（kg-CO2）	
電力（係数：0.521　東北電力）	４３，５６７
灯油（係数：2.49193）	８，３４９
都市ガス（係数：2.16）	８６．４
ガソリン（係数：2.32166）	１１６，１８８．８
軽油（係数：2.58622）	６５，８６０．２

※電力の二酸化炭素換算係数は、2019年度　東北電力（株）を使用

廃棄物排出量（ｔ）	
産業廃棄物（ｔ）	２，０８５
一般廃棄物（ｔ）	０．７０

総排水量（㎥）	４９４

（３）環境目標（短期・中長期）の設定

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量、グリーン購入の推進に係る環境負荷の削減目標については、下記のように設定しました。

（事業所）

	単年度目標	中長期目標
	2022年度（2021.6～2022.5）	2020～2022年度（３年間）
電力消費量	2021年度比１％削減	2019年度比３％削減
灯油消費量	2021年度比１％削減	2019年度比３％削減
ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ消費量	2021年度比１％削減	2019年度比３％削減
ガソリン消費量	2021年度比１％削減	2019年度比３％削減
軽油消費量	2021年度比１％削減	2019年度比３％削減
産業廃棄物排出量	2021年度比１％削減	2019年度比３％削減
一般廃棄物排出量	2021年度比１％削減	2019年度比３％削減
総排水量(水消費)	2021年度比１％削減	2019年度比３％削減
ｸﾞﾘｰﾝ購入の推進	エコ商品購入の推進	エコ商品購入の推進

（建設現場）

①工事車両・重機の燃料使用量を削減し、ＣＯ２排出量の削減を目指します。

②事業活動に伴う廃棄物に関して分別を積極的に実施し、廃棄物を削減します。

③環境に配慮した施工に心がけます。

（４）２０２２年度環境目標値

２０２１年度実績値を基に２０２２年度の具体的数値目標値を下記のように算出しました。（１パーセント削減）

	２０２１年度実績値 (2021.6～2022.5)	２０２２年度目標値 (2022.6～2023.5)
電力消費量	５７，２６５ｋＷｈ	５６，６９２．４ｋＷｈ
灯油消費量	１，３９３Ｌ	１，３７９．１Ｌ
ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ消費量	３７ｍ３	３６．６ｍ３
ガソリン消費量	４３，７３５Ｌ	４３，２９８Ｌ
軽油消費量	３９，２８８Ｌ	３８，８９５Ｌ
産業廃棄物排出量	２８８ｔ	２８５ｔ
一般廃棄物排出量	０．７２０ｔ	０．７１３ｔ
総排水量(水消費)	２９６ｍ３	２９３ｍ３
ｸﾞﾘｰﾝ購入の推進	事務用品エコ商品購入	事務用品エコ商品購入

５．主な環境活動計画

（１）電力使用量の削減対策

◆冷房使用時の室内温度２７℃の設定にする。
◆エアコンのフィルター清掃を行う。
◆出社時、昼休み、退社時等不要な照明を消灯する。
◆ＯＡ機器、パソコンのスイッチオフの励行。

（２）灯油使用量の削減対策

◆暖房使用時の室内温度２２℃の設定にする。
◆冬季における重ね着等服装の工夫。

（３）プロパンガス使用量の削減対策

◆ガス使用時は節約に心がける。

（４）ガソリン使用量の削減対策

◆営業車両等のタイヤ空気圧の確認。
◆駐車時等のアイドリングストップの実施。
◆エコドライブの励行。

（５）軽油使用量の削減対策

◆建設機械、トラック等作業を停止するときは、エンジン停止する。
◆トラック等の過積載を行わない。

（６）産業廃棄物排出量の削減対策

◆リサイクルに努め、排出量を削減する。
◆マニュフェストの適正管理。

（７）一般廃棄物排出量の削減対策

◆両面コピーの励行によるコピー用紙の使用量削減。
◆コピー用紙の裏面使用の励行。
◆紙を使用しない、メールの利用促進。

（８）総排水量（水使用量）の削減対策

◆手洗い、洗物における節水の励行。
◆洗車等をする場合は節水を励行する。

（９）グリーン購入の推進

◆事務用品のグリーン購入適合品商品の購入。

６．環境目標の実績

対象取組期間における環境目標の達成状況は下記の通りでした。

	2021年度実績値	2022年度実績値	削減量	達成度
二酸化炭素排出量（軽油・ガソリン等含む総量）	236,212kg－C02	234,051kg－C02	-1%	◎
二酸化炭素排出量（軽油・ガソリン等除く）	33,384kg－C02	52,002kg－C02	+56%	×
電力消費量	57,265ｋＷｈ	83,622ｋＷｈ	+46%	×
灯油消費量	1,393Ｌ	3,353Ｌ	+240%	×
ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｶﾞｽ消費量	37ｍ３	40ｍ３	+8%	×
ガソリン消費量	43,735Ｌ	50,081Ｌ	+14.5%	×
軽油消費量	39,288Ｌ	25,527Ｌ	-35%	◎
産業廃棄物排出量	288ｔ	2,085ｔ	大幅増	×
一般廃棄物排出量	0.72ｔ	0.70ｔ	-2.8%	◎
総排水量(水消費)	296ｍ３	494ｍ３	+167%	×
ｸﾞﾘｰﾝ購入の推進	エコ商品購入	エコ商品購入	―	◎

なお、2021年度、2022年度の各項目とも工事現場も含む総量の比較

目標に対して　◎：達成　△：削減したが目標未達　×：昨年より増加

総量は削減することができました。しかし、電力・ガソリン・灯油は削減できませんでした。各年度工事内容や気象状況等が変化するので、毎年、前年度より削減することが難しい状況になってきています。
今後もできる限り目標達成にむけて頑張りたいと思います。

７．環境活動計画の取組結果の評価

○：十分な取り組み　△：ある程度の取組　×：不十分　―：評価保留

具体的活動計画	評価
◆冷房使用時の室内温度２７℃の設定にする。	△
◆エアコンのフィルター清掃を行う。	○
◆出社時、昼休み、退社時等不要な照明を消灯する。	△
◆ＯＡ機器、パソコンのスイッチオフの励行。	○
◆暖房使用時の室内温度２２℃の設定にする。	△
◆冬季における重ね着等服装の工夫。	△
◆ガス使用時は節約に心がける。	○
◆営業車両等のタイヤ空気圧の確認。	△
◆駐車時等のアイドリングストップの実施。	△
◆エコドライブの励行。	○
◆建設機械、トラック等作業を停止するときはエンジン停止する。	○
◆トラック等の過積載を行わない。	○
◆リサイクルに努め、排出量を削減する。	△
◆マニュフェストの適正管理。	○
◆両面コピーの励行によるコピー用紙の使用量削減。	△
◆コピー用紙の裏面使用の励行。	○
◆紙を使用しない、メールの利用促進。	△
◆手洗い、洗物における節水の励行。	△
◆洗車等をする場合は節水を励行する。	△
◆事務用品のグリーン購入適合品商品の購入。	△

十分な取組が行われた項目が少なく、ある程度の取組が行われた項目が多く、今後はもっと十分な取組を行うように努力します。
来年度も、同方針を継続して取組ます。

８．環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける建設業法、環境関連法規（廃棄物処理法、建設リサイクル法等）について遵守状況をチェックしたところ、違反はありませんでした。
また、過去３年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について問題がありませんでした。

９．代表者による全体評価と見直しの結果

現段階では、環境方針、環境目標、環境活動計画等について、変更の必要は、ないと判断しています。
今年度は、ガソリン・軽油を削減することができませんでした。
今後は従業員への啓蒙活動や教育を深め、毎日の節電、節水、省エネを推進し、環境負荷の低減に努めてゆきたいと思います。
また、環境目標の達成、環境活動計画の十分な取組をおこない目標達成できるように頑張ってゆきたいと思います。